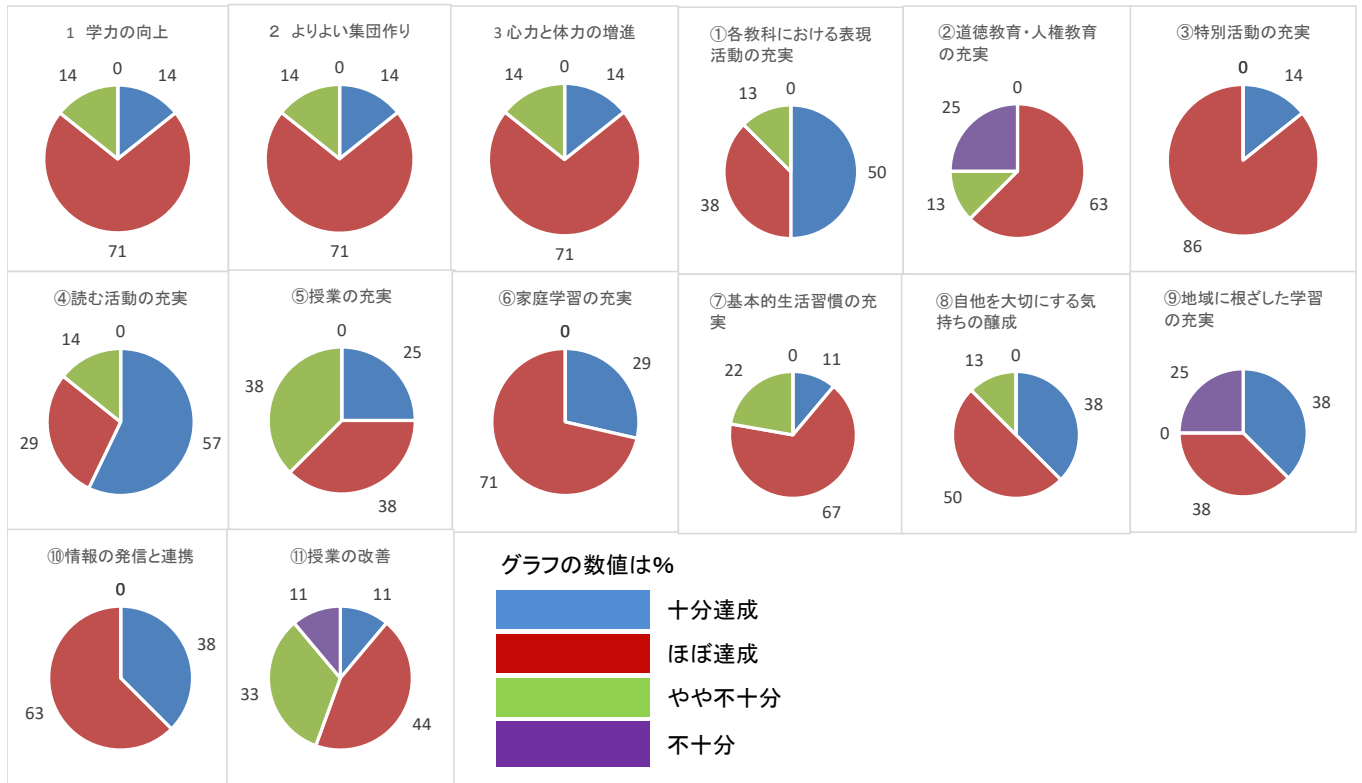


H7 学校評価(職員)



項 目	成果と課題・向上策
1 学力の向上	・以前に比べ子どもたちの学習への意欲が高まっている。 ・重点研究を進めることができた。 ・個別支援、そのための教材研究の時間が十分に取れなかった。 ・つけるべき力や学び方をしっかり示し、評価を子どもに伝えることで自らの伸びようとする子がふえるのではないかな。
2 よりよい集団作り	・集団として場に応じた行動をとることができるようになった。 ・学級会、生活、総合の充実、本当にやりたいことを子どもの力でやるということが、よりよい集団作りにつながる。
3 心力と体力の増進	・体みがき体操を朝の会で取り組んでいる。 ・休み時間に体を動かして遊んでいる子が多い。 ・心力、体力の増進を見取るのは難しいと感じる。 ・相談週間の時間の確保をしたい。
①各教科における表現活動の充実	・聞くことの指導から、相手の考えを受け止めことができるようになってきた。 ・子ども同士で自分の考えを伝え合うことで理解を深めることができた。 ・題材となる曲に対してどのように表現したいを導入で考えさせている。 ・他者の考えを聞くことに重点をおいて指導をおこなった。 ・ICTを活用し、効果的に共有や提示ができるよう推進していく。 ・限られた児童が活躍する授業にどうしてもなりやすい。グループや相手を選んで交流すると学びの掌握が難しい。(低学年)
②道徳教育・人権教育の充実	・自分と違う考えでも認めることができる子が多くなった。 ・相手の立場に立って考えることができない子も多い。 ・よりよい友人関係を築こうとする意識は強い。仲間がいることは受けとめられつつあるが、自分の言動に結び付いていない。 ・トラブルがあったときに行動を振り返って考える場としていきたい。 ・道徳の授業を十分に実践できなかった。
③特別活動の充実	・運動会に目当てを持って取り組めた。 ・自分の頑張ることを明確にしてから活動できるようにしていきたい。 ・学級活動の時間を設けて、学級をより良くするための話し合いを設けることができた。

④読む活動の充実	・朝読書がしっかりできている。静かに読書できる子が多い。 ・国語でブックトークを行い読書への意欲が高まった。 ・高学年は国語の時間に毎週図書館の時間を設けるのは困難である。 ・こんぺいとうの会の読み聞かせが有難い。 ・時間の確保はある程度できたが、家庭での読書の日常化には繋がっていない。 ・学級文庫の功罪と検討が必要。
⑤授業の充実	・考える場面、ペア学習、グループ学習など先生方が工夫して授業を行っている。 ・どうしても授業者の願う方向に誘導してしまう。対話的な活動をさらに取り入れていきたい。 ・わからないことは何かを言えるようにしたい。子どもがなぜ、どうしてと思えるような授業づくりをしたい。
⑥家庭学習の充実	・保護者やクラブ・センターの協力があり、学んだ内容の定着に繋がっている。 ・ほぼ全員が宿題を提出している。 ・自主学習に多くの子が取り組めるようになった。 ・自分で考えてできない子には、選択プリントを用意する等の対策が必要。eーライブラリーを活用した学習にも取り組ませたい。 ・子どもが自主学習を選択できる場を整え、保護者とも連携した。 ・取り組むことができない児童が一定数おり、取り残してしまった。 ・家庭学習を見える化して、学校と家庭が共通理解を図れる環境を整えたい。
⑦基本的生活習慣の充実	・あいさつは積極的できた。生活習慣について視覚的な掲示をした。 ・身の回りの整理整頓など教員自らゴミを拾うなどして環境整備に意識を向けさせることができた。 ・掃除の始まりの時間をしっかり守らせたい。 ・呼び捨てやあだ名で呼ばずに「さん」「くん」をつけて呼んでいる。 ・身につけている子と身につけていない子の差が大きいのが課題。 ・高学年では多くの子が呼び捨てで友だちを呼んでいて、その注意するのが難しい。 ・一律で「さん」づけとしていきたい。 ・整理整頓、時間を意識できるよう声をかけていきたい。項目をしぼって全校で取り組む（校長講話・係主任・児童会から発信）ようにすると取り組みやすいかもしれない。
⑧自他を大切にす気持ちの醸成	・帰りの会で友のよさをたくさん発表している。 ・自分の過ちを素直に認めることができる。学級会やみんなで考える場を作り問題を解決してきた。 ・他者に寄り添う指導を継続して行ってきた。 ・できている子とできない子の差が大きい。 ・問題となることは機を逃さず指導する。
⑨地域に根ざした学習の充実	・総合的な学習の時間に地域に関わることや自分たちの生活に関わることを追究している学年が多い。（農民美術・塩田かるた・ため池など） ・外部講師の方にお話を聞いたりふれあったりしてよい関わりができた。 ・活動に協力していただいた方々の名簿づくり（人材バンク）を進め、本校の財産とした。
⑩情報の発信と連携	・自由参観を年2回設けている。 ・隔週で学年だより・学級だよりを出してクラス・学年の様子を伝えた。 ・学年通信をネット配信のみ、紙での配布を辞める方向で保護者と合意を図りたい。
⑪授業の改善	・県外研修に参加し学んだことを取り入れている。 ・日々の仕事に追われ研修する時間が持てなかった。校内の授業でも参観できないことがあった。 ・気軽に職員間で授業参観や複数で指導する授業ができるように、時間割やサポート体制を考えたい。 ・夏休みに積極的に研修されている先生が多い。
その他	・学校目標「かしこく」「やさしく」「たくましく」が言葉だけになっている。子どもや地域を巻き込んでいき、さらにそれをきちんと振り返り評価できるような仕組みづくりが必要だと感じる。 ・児童アンケート、職員アンケート、保護者の学校評価を繋げ検討したい。 ・職員のアンケートを集約したものを管理職の先生を中心に検討することが必要。